## 月舘地域振興基本計画【概要版】

計画策定の目的:本計画は、月舘地域全体の活性化に有効な重点プロジェクト等のまちづくり戦略等を導き出し、市民との協働の取り組みを含めて、ハード・ソフト両面から施策を検討し、伊達市月舘地域のまちづくり計画(行政計画)としてとりまとめたものである。なお、都市と農村の交流に視点から、主に花工房周辺を中心とした糠田、下手渡、上手渡の3つの行政区が連携して取り組みと、月舘地区全体の生活の拠点である中心市街地を中心としつつも隣接する月舘、布川、御代田の3つの行政区が連携して月舘地区として振興していくエリアの2つを対象に官民連携による事業展開により地域振興を図っていくものである。

●通過交通者へ

誘導

レクリエーション

拠点

まちの魅力発信

●月舘地域の集客施設紹介

## 1. 地域全体のまちづくりの理念と将来像

月舘地域全体のまちづくりの理念と将来像は、月舘地域振興基本構想で示されている内容に即するものとし、まちづくりの基本姿勢を踏まえつつ、以下に示すとおりとする。

### ■まちづくりの理念

- 1. 環境の変化を乗り越える
- 2. 子どもからお年寄りまで安心して暮らせる
- 3.「誇り」・「愛着」・「希望」がもてる新しい月舘を創る

### ■月舘地域全体の将来像

~花と緑 笑顔 やすらぎの郷~

『出会いと交流 健幸でやさしいまち つきだて』

## 2. まちづくりの戦略目標

まちづくりの戦略目標と基本コンセプト、まちづくり戦略は以下に示すとおりとする。

■戦略目標

中心市街地の魅力・活力の強化

花工房の広域集客機能の強化

スポーツ交流の強化

O花工房を核とした交流拡大に

よる活性化の推進(継続)

○交流試合のコーディネート機

●小手小学校の「宿泊施設拡

●児童健全育成環境の拡充

む人も増える展開へ)

●高齢者住宅等の整備検討(住

Oまちなかの各種イベントの拡

張」

### 基本コンセプト:月舘文化(月舘の魅力)を満喫する、夢を育むトライアングル拠点づくり

- 1. まちなかリノベーションを推進することで、地元の子どもや大人も楽しめるスペースを創出し、中心部の賑わいや安心を高める。
- 2. 花工房等における集客・誘導機能を強化することで集客力を高め、まちなかに人を誘導する。
- 3. 住み続ける子ども教育との連携を図りつつ、スポーツや健康増進活動の活性化を図ることで、健全な人材育成に繋げる。

### 基本コンセプトの3つのシナリオ

集客・誘導機能の強化

集客機能を強化 し交流人口を拡 大するために



リノベーションまちなか

中心部の賑わい や安心機能を高 めるために



教育との連携住み続ける子ど

スポーツ振興・健康増進等により、 こども等の健全 育成に繋げるために

### <凡例>

●ハード ○ソフト

短期戦略(概ね5年以内)

25年以内) 中長期戦略(概ね6年以降)

<来訪者が喜ぶ仕掛け> 〇花工房を核とした交流拡大による活性化の推

○化工房を核とした交流拡入による活性化の推 進

- ○交流滞在事業の仕掛けづくり
- ●クラインガルテンの整備
- ●月舘運動場の人工芝化とクラブハウス機能の 拡充
- ●小手小学校の合宿所リノベーション ○合宿ロードワークのメニュー構築
- ※休憩で楽しむ、散策で楽しむ仕掛けづくり
- ●ミニ道の駅の常設開催 (バイパス利用者の休憩)

- ※人が集まっているところが利用者気にならずに見せることができるスペース(地元
- ※子どもも寄ってくる仕掛けづくり
- ●まちなか回遊散策路の整備
- ●子育て支援施設等の充実
- Oまちなかの各種イベントの開催

Oおじいちゃん。 おし

- ●月舘小中学校の統廃合
- ○まちづくりと一体となった教育メニューの構 鉱
- ●通学道路の整備
- ○空き家の利活用(まちなかサロン、交流・情報 発信)
- ※まちなか探検(まちの歴史を探す)
- ●農家レストランの整備

〇おじいちゃん、おばあちゃん の語り部の育成(小手姫物語 の伝承)

●広域ウォークロードの構築

# 3. 重点プロジェクトの検討

散策

糠田

## (1)中心市街地のまちなか賑わい強化プロジェクトの整備目標

都市と農村の交流

国道 349 号

観光客(来訪

者) をまちなか

へ誘導

主に月舘地区(月舘、布川、御代田)を対象とした整備目標と基本的な考え方を以下に示す。

東北中央自動車道

御代田

月舘

非日常利用

集客エンジン

地域住民の

散策

....

誘導・案内

#### ■整備目標

<概念図>

~子どもの集いをキッカケとした高齢者も出かけたくなる

「まちなか」の暮らしとふれあいの健幸拠点~

霊山エリアとの連携

里の暮らし再発見

小手姫文化(小手姫ブランド)

●子どもの活力を核としたまちなか集い再生・回遊再生

布川

・まちなか再生 💆

子どもの学び再生

まちの

暮らし・歴史の継承

### ■基本的な考え方

- ・月舘地域の生活の中心拠点として機能を拡充する。(小さな拠点機能)
- ・子ども達が集い、まちなかで遊ぶことができ、地域住民や観光客、立ち寄り客等との交流を含め、子育てと情操教育に資する取り組みを行う。(ソフト施策)
- ・自動車交通が少なくなることを契機として、歩きやすいまちなかとして再構築する。
- ・中心市街地を舞台とした祭りやイベントの開催により地域内外から人を呼び込む
- ・花工房やミニ産直施設から、まちなかへ立ち寄った際に自動車を駐車しやすいように、主要な駐車場を案内できるサイン 整備を行う。(近隣施設の駐車場の共同利用も視野に入れながら、主要施設から近い順に、第一駐車場、第二駐車場等)
- ・広瀬川沿いの散策を楽しむきっかけづくりを通じて、人々の交流が生まれる仕掛けをつくる。

### (2)花工房周辺の都市と農村の交流活性化プロジェクトの整備目標

主に小手地区(糠田、上手渡、下手渡)を対象とした整備目標と基本的な考え方を以下に示す。

### ■整備目標

~花工房とスポーツを活かした、都市と農村との交流の拠点~

### ■基本的な考え方

- ・月舘地域を代表する広域交流拠点である花工房を核として豊かな自然に囲まれた農村の魅力について五感を使って体験する取り組みを強化し集客強化を図る。
- ・月舘運動場を核としたスポーツ交流や健康増進活動の活性化を図るとともに、隣接する施設の有効活用も含めて、地域のレクリエーション拠点とするとともに、通学合宿所としても利用可能なものとする。
- ・スポーツ食育の観点から、花工房を核とした「農」、「食」などの資源と月舘運動場を核としたスポーツ施設での活動を有機的に連携させた取り組みを推進する。
- ・まちの魅力を発信するため、中心市街地(字町地区)への関心を寄せるための誘導を行う。
- ・まちなかの送迎も視野に入れる。
- ・女神山、あじさいの小径、下手渡藩陣屋跡、侍墓地などの地域資源を利活用した散策ルート等も PR していくものとする。

## 月舘地域振興基本計画 一整備構想図一





